

コーディネーターニュース

「RI戦略計画」から「クラブの戦略計画」へ

第2ゾーン ロータリーコーディネーター

金杉 誠

(横浜西RC)

2014年3月に国際ロータリーは、ロータリアン67,000人に対してRI戦略計画に関するアンケート調査を実施いたしました。その結果RI戦略計画への支持は極めて高く、又地区やクラブで戦略計画を立てる必要性に対しても97%のロータリアンが賛成をしております。

一方クラブで戦略計画があるという回答は45%となっておりますが、さて皆様方のクラブは如何でしょうか？ 私が実際に各地区の研修に呼ばれた時の感触では、クラブで戦略計画を立てて実行しているクラブは、未だほんの一握りではないでしょうか？「又RIが難しいことを言ってきたな、ここは少し様子を見て」と言ったところではないでしょうか？

戦略計画は皆様方の為のものです。ロータリーという組織は本質的に分権的なもの。即ち各クラブが自由に運営できる部分が非常に多い。それはそれでよいことだと思いますが、一方クラブにすべてを任せると単年度主義の弊害というものも目立ってきたように思われます。

自分が会長の1年間頑張ればよい、前例踏襲を由とする文化です。これがもし営利企業であったら如何でしょうか？ 売り上げが三分の二に減ったら何かしかるべき対策を立てるのではないのでしょうか？ それも長期的な方向性を。皆様方が本当にロータリーを好きならば(そう信じていますが)、是非立ち上がって頂きたいのです。

現実には先ほどのアンケート調査でも戦略計画を持っているクラブのほうが、そうでないクラブよりも会員満足度が16%も良いという結果が出ております。も

ちろんロータリーの性質から言って決して強制しているわけではありません。問題が多いと感じたらこうしたら如何ですかとのご提案です。

RI戦略計画は120万人のロータリアンの為のものです。皆様方のクラブに同じようなものを求めているわけではありません。10人のクラブや100人を超えるクラブ、地方のクラブや都会のクラブ、全部同じようなものを作る必要は全くないのです。

時々「戦略計画立案ガイド」が使い難いという声も聞きますが、それは参考にする程度で十分です。大切なことはクラブのメンバー全員が参加して、皆平等な立場で前向きな声を収集するということです。

又良く時間がないと言う声も聞きます。例会の時間を使えば良いのではないのでしょうか？ 何も例会の時間は卓話を聞かなければいけないという決まりなんかありません。自分たちのクラブを少しでも良くするために、皆で話し合いをしたほうが時にはよほど盛り上がるのではないのでしょうか？

戦略計画策定にあたってのポイントを、私なりに考えますと、会員増強計画は外せないと思います。組織改革や無理のない広報計画、クラブによっては合併あるいは新クラブの設立も必要かもしれません。奉仕活動の現状と将来、例会の柔軟性の確保や経費の見直し、リーダーシップ研修等々。もちろん全部網羅する必要などないのです。

肝心なことは形式ではなく、自分たちのクラブがより良くなるための方策を、皆で良く膝を交えて話し合ってください。そしてどんなに簡単でもよいからそれをまとめれば立派な戦略計画だと思います。